

令和7年度県政アンケート調査

ご記入にあたってのお願い

○封筒の宛名となっている方、ご本人がご回答ください。

（ただし、ご本人が長期不在などでご回答になれない場合は、ご家族の方などが代わってお答えください。）

○この調査は無記名式です。お名前、ご住所をご記入いただく必要はありません。

○郵送またはインターネットによる回答のどちらかの方法で回答をお願いします。

【インターネットの場合】

○インターネットでの回答をご希望の方は、下記の二次元コード（又はURL）よりお進みください。その際、下記整理番号をご入力いただく必要があります。



あなたの整理番号 _____

※ 整理番号は個人を特定するものではありません。
郵送での回答とインターネットでの回答の重複をさけるためのものです。

https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail?tempString=ak07

○9月2日（火）までにご入力いただきご回答ください。

【郵送の場合】

○黒か青のボールペン、または鉛筆で調査票に直接ご記入ください。

○ご回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。また、設問によってご回答していただく方が限られる場合がありますので、設問をよくお読みいただき、ご回答ください。

○「その他」を選ばれた場合は、（ ）内に簡潔に具体的内容をご記入ください。

○ご記入いただいた調査票は、そのまま同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて9月2日（火）までにご投函ください。差出人等の記入は不要です。

◎このアンケートは、今後のより良い県政運営に生かすものです。ご協力よろしくお願いします。

● 調査結果の公表予定について ※公表時期は12月頃を予定しております

①県ホームページに掲載 [<https://www.pref.yamagata.jp/>]

②県・総合支庁の窓口に備え付け

● 調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします

山形県 みらい企画創造部 企画調整課

担 当：企画担当／清水

電 話：023-630-2125（直通）

023-630-2211（代表、内線 2125）

最初に、あなたご自身のことについて、おうかがいします。

(性別や年齢による分類等、統計的に分析するためです。)

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

(N=2,617)

(46.6%) 1. 男 性 (52.7%) 2. 女 性 (0.8%) 3. 無回答

F 2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

(N=2,617)

(8.0%) 1. 18～29歳 (12.5%) 3. 40～49歳 (11.7%) 5. 60～64歳
(8.5%) 2. 30～39歳 (17.8%) 4. 50～59歳 (41.3%) 6. 65歳以上

F 3 あなたのお仕事は何ですか。(○は1つ)

(N=2,617)

(10.4%) 1. 自営業
(4.1%) 2. 会社経営者、役員
(28.7%) 3. 常用雇用者※1
(12.3%) 4. 臨時雇用者※2 (パート・アルバイトなど)
(5.5%) 5. 公務員
(9.5%) 6. 専業主婦 (主夫)
(23.1%) 7. 無 職
(2.5%) 8. 学 生
(2.9%) 9. その他 ()

《1～4を選んだ方へおうかがいします》
職業の分野は何ですか。(○は1つ)

(N=1,451)

(11.1%) 1. 農林水産業
(10.1%) 2. 建築・土木業
(21.1%) 3. 製造業
(33.7%) 4. 商業・サービス業
(19.6%) 5. その他 ()

※1：期間を定めずに又は1年を超える期間を定めて雇われている人

※2：日々又は1年以内の期間を定めて雇われている人

F 4 あなたは結婚していらっしゃいますか※。(○は1つ)

(N=2,617)

(18.1%) 1. 未 婚 (70.2%) 2. 既 婚 (11.3%) 3. 離婚・死別 (0.0%) 4. その他 ()

※ 届出の有無に関係なく記入してください。

F 5 あなたは、どなたと同居されていますか。(○はいくつでも)

(N=2,617)

(66.8%) 1. 配偶者 (31.9%) 3. 親 (5.5%) 5. 祖父・祖母 (9.7%) 7. 一人暮らし
(42.0%) 2. 子ども (7.4%) 4. 孫 (6.6%) 6. 兄弟・姉妹 (0.8%) 8. その他 ()

F 6 あなたを含めて、いま一緒に暮らしているご家族の中に、次のような方はいらっしゃいますか。

(○はいくつでも)

(N=2,617)

(7.6%) 1. 乳幼児 (8.5%) 4. 高 校 生 (1.0%) 7. 専門学校生 (26.1%) 10. 該当者はいない
(11.5%) 2. 小学生 (4.3%) 5. 大 学 生 (22.3%) 8. 65～74歳の高齢者
(7.6%) 3. 中学生 (0.2%) 6. 大学院生 (35.8%) 9. 75歳以上の高齢者

F 7 あなたのお住まいは次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

(N=2,617)

(74.2%) 1. 住宅地域 (2.4%) 2. 商業地域 (13.9%) 3. 農漁村地域 (8.4%) 4. 山間地域

お住まいの市町村名をお書きください

「山形での生活」について、おうかがいします。

問1 あなたは、山形県が他県に誇れる良さはどのようなものがあると思いますか。(○はいくつでも)
(N=2,617)

(76.4%) 1. 自然環境の良さ	(5.8%) 7. 整った教育・文化施設	(13.5%) 13. 優れたものづくり技術
(13.1%) 2. 日常生活の便利さ	(3.8%) 8. 充実したスポーツ施設	(41.5%) 14. 豊かな農林水産物
(1.3%) 3. 教育水準の高さ	(16.1%) 9. 地域住民の連帯感が強い	(2.1%) 15. 大学などの高等教育
(4.7%) 4. 交通機関の良さ	(14.6%) 10. 豊富な観光資源	(9.7%) 16. 三世代同居等の家族形態
(23.3%) 5. 優れた郷土文化	(21.1%) 11. 勤勉、実直な県民性	(1.4%) 17. その他()
(45.4%) 6. 治安や風紀の良さ	(48.0%) 12. 優れた食文化	(5.9%) 18. 特にな

問2 また、あなた自身もその良さを^{きょうじゅ}享受(実感)していると思うものは何ですか。(○はいくつでも)
(N=2,617)

(65.6%) 1. 自然環境の良さ	(3.8%) 7. 整った教育・文化施設	(6.8%) 13. 優れたものづくり技術
(13.1%) 2. 日常生活の便利さ	(2.6%) 8. 充実したスポーツ施設	(34.3%) 14. 豊かな農林水産物
(0.7%) 3. 教育水準の高さ	(12.9%) 9. 地域住民の連帯感が強い	(0.8%) 15. 大学などの高等教育
(4.2%) 4. 交通機関の良さ	(7.9%) 10. 豊富な観光資源	(6.1%) 16. 三世代同居等の家族形態
(12.6%) 5. 優れた郷土文化	(12.3%) 11. 勤勉、実直な県民性	(0.7%) 17. その他()
(37.0%) 6. 治安や風紀の良さ	(41.3%) 12. 優れた食文化	(8.3%) 18. 特にな

問3 あなたは、山形県に住みたいと思いますか。(○は1つ)
(N=2,617)

(57.9%) 1. 住みたいと思う	(8.1%) 3. あまり住みたいと思わない
(20.6%) 2. やや住みたいと思う	(2.9%) 4. 住みたいと思わない
(8.8%) 5. どちらともいえない	

-->【問5へ】

【問3で「1. 住みたいと思う」「2. やや住みたいと思う」を選んだ方におうかがいします。】

→ 問4 あなたが住みたいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)
(N=2,053)

(28.0%) 1. 地域との結びつきや連帯感がある
(43.3%) 2. 優れた食文化、豊かな農林水産物に恵まれている
(36.3%) 3. 住環境(家の広さ・家賃等)に恵まれている
(18.4%) 4. 豊富な地域資源(自然環境・観光資源等)や郷土文化がある
(7.8%) 5. 子育て環境(子育て支援施設の数・子育て支援制度等)が充実している
(1.5%) 6. 多様な学びを受けられる機会や進学の実績が充実している
(29.0%) 7. 家庭事情(介護・子育て・家を継ぐ等)がある
(55.8%) 8. 現状の暮らしや生活に不満がない(県外への転居希望がない)
(5.1%) 9. その他()

【問3で「3. あまり住みたいと思わない」「4. 住みたいと思わない」を選んだ方におうかがいします。】

問5 あなたが住みたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

(N=288)

- (57.3%) 1. 賃金や福利厚生、処遇が充実した職場や就職先が少ない
 (28.5%) 2. 志望する仕事やスキル・知識を活かせる職種が少ない
 (45.8%) 3. 大きな商業施設や娯楽施設が少ない
 (67.4%) 4. 公共交通機関をはじめとする交通の利便性が低い
 (18.8%) 5. 子育て環境（子育て支援施設の数・子育て支援制度等）が充実していない
 (28.5%) 6. 多様な学びを受けられる機会や進学の実選択肢が不十分である
 (44.8%) 7. 古くからの慣習や性別による固定的な役割分担が残っている
 (30.2%) 8. その他（ ）

【すべての方におうかがいします。】

問6 あなたは現在、どの程度幸福を感じていますか。(〇は1つ)

(N=2,617)

- (32.0%) 1. 幸福だと感じている (16.9%) 3. どちらともいえない (2.7%) 5. 幸福だと感じていない
 (41.7%) 2. やや幸福だと感じている (5.3%) 4. あまり幸福だと感じていない

問7 また、幸福(充足している)かどうか判断する際に重視したものは何ですか。(〇はいくつでも)

(N=2,617)

- | | | |
|--------------------|----------------------------|---------------------|
| (61.5%) 1. 健康状況 | (14.3%) 8. 職場の人間関係 | (7.5%) 15. 子育て環境 |
| (61.3%) 2. 家族関係 | (13.7%) 9. 就業状況 | (3.9%) 16. 教育環境 |
| (29.4%) 3. 自然環境 | (15.6%) 10. 治安、防災体制 | (2.8%) 17. 社会貢献 |
| (41.0%) 4. 居住環境 | (29.6%) 11. 自由な時間、充実した余暇 | (4.6%) 18. 地域の歴史、文化 |
| (27.0%) 5. 友人関係 | (13.8%) 12. しがらみ(干渉や束縛)の有無 | (1.8%) 19. その他 |
| (34.6%) 6. 家計の状況 | (10.2%) 13. 地域コミュニティとの関係 | () |
| (17.0%) 7. 仕事のやりがい | (6.3%) 14. まちの活気 | (1.5%) 20. わからない |

「第4次山形県総合発展計画」について、おうかがいします。

第4次山形県総合発展計画について

「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」を基本目標とし、県民一人ひとりの希望が実現し、持続的に発展していく県づくりの指針として策定したもので、「長期構想（令和2年3月策定）」及び「実施計画（令和7年3月策定）」により構成されています。

「長期構想」は、県づくりの基本的な考え方と基本目標、その実現に向けた政策・施策の展開の方向性を示し、「実施計画」は、長期構想の計画目標を実現するための主要な取組みの方向性を示すとともに、その進行管理のための目標管理やKPI（重要業績評価指標）を設定するものです。

※第4次山形県総合発展計画は山形県ホームページでも公表しています。

URL：<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/keikaku/keikaku4/index.html>



問 8 あなたは、「山形県の交通、医療、教育などの公的サービス」について、デジタル技術の活用により、その利便性が向上していると思いますか。(○は1つ) (N=2,617)

(7.9%) 1. そう思う (41.3%) 3. どちらともいえない (16.4%) 5. そう思わない
(21.0%) 2. どちらかと言えばそう思う (11.8%) 4. どちらかと言えばそう思わない

問 9 あなたは、これからの山形県の地域づくりにあたって、「日本人も外国人も、お互いを認め合い、地域を構成する一員として共に活躍できる社会」が重要であると思いますか。(○は1つ) (N=2,617)

(30.8%) 1. そう思う (25.7%) 3. どちらともいえない (7.2%) 5. そう思わない
(31.1%) 2. どちらかと言えばそう思う (4.4%) 4. どちらかと言えばそう思わない

問 10 あなたは、過去1年間に月に1日以上、何らかの学習(外国語などの語学、デジタル等の技術習得、趣味を深める学習など)を行っていますか。(○は1つ) (N=2,617)

(24.7%) 1. 行っている (74.4%) 2. 行っていない

【 問 10 で「1. 行っている」を選んだ方におうかがいします。 】

➤ 問 11 あなたが学習している内容は何ですか。(○はいくつでも)

(N=646)

(45.7%) 1. 仕事の知識等に関する事 (5.4%) 7. 家庭生活に関する事
(16.9%) 2. デジタルに関する事 (7.1%) 8. 育児や教育に関する事
(7.4%) 3. ボランティア活動に関する事 (49.2%) 9. 趣味に関する事
(3.9%) 4. 体験活動に関する事 (23.1%) 10. 教養に関する事
(9.9%) 5. 社会問題に関する事 (3.1%) 11. その他
(25.2%) 6. 健康やスポーツに関する事 ()

「防災」について、おうかがいします。

問 12 能登半島地震(2024年1月)をはじめ、本県における豪雨災害(2024年7月)など、近年県内外において、大規模な自然災害が頻発し甚大な被害が発生しております。こうした状況を踏まえ、ご自身の防災に対する関心の程度に変化はありましたか。(○は1つ) (N=2,617)

(17.4%) 1. 非常に高まった (0.5%) 4. 低下した
(55.9%) 2. ある程度高まった (0.5%) 5. その他 ()
(25.2%) 3. 変わらない

問 13 あなたは、過去1年間に家庭において何らかの防災対策(非常食や防災グッズ等の購入・備蓄、家具の耐震対策、避難訓練への参加など)を行っていますか。(○は1つ) (N=2,617)

(49.0%) 1. 行っている (50.4%) 2. 行っていない

問 14 町内会や自主防災組織、消防団等が実施する各種防災訓練や、行政等が実施する防災に関する説明会、セミナーなど、地域の防災活動にどの程度参加していますか。(○は1つ) (N=2, 617)

- (4.7%) 1. 積極的に参加している
 (25.6%) 2. ある程度参加している
 (28.1%) 3. 参加してみたいとは考えているが、参加したことはない
 (23.1%) 4. 防災活動に関する情報がなく、いつ行われているかわからないため、参加したことがない
 (13.4%) 5. 特に参加する必要があると考えているため、参加したことがない
 (3.6%) 6. その他 ()

問 15 自主防災組織の活動等、地域の防災活動に参加するにあたり、障害になっていると感じることは何ですか。(○はいくつでも) (N=2, 617)

- (33.8%) 1. 時間がない・忙しい (11.3%) 5. 高齢者の参加が多く、若者は参加しづらい
 (7.0%) 2. 自主防災組織の活動等に関心がない (27.4%) 6. 気軽に参加できる防災活動の取組みが少ない
 (22.5%) 3. 防災に関心はあるがまず何をすべきか分からない (6.8%) 7. 行政の支援体制が整っていない
 (21.8%) 4. 自主防災組織の活動等がない (10.9%) 8. 特にない
 (あるか分からない)・少ない (4.1%) 9. その他 ()

問 16 あなたは、過去に被災地での災害ボランティア活動（職業として行うものは除く）に参加したことがありますか。(○は1つ) (N=2, 617)

- (10.4%) 1. 参加したことがある (88.9%) 2. 参加したことがない

問 17 あなたは、今後、災害ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つ) (N=2, 617)

- (17.5%) 1. 参加したい (22.5%) 2. 参加したくない (57.9%) 3. わからない

問 18 あなたが災害ボランティア活動に参加するにあたり、障害となっていると感じることは何ですか。(○はいくつでも) (N=2, 617)

- (15.7%) 1. 災害ボランティア活動に参加する方法が分からない
 (33.5%) 2. 災害ボランティア活動に参加する時間がない
 (18.5%) 3. 災害ボランティア活動に参加するのに必要な情報がない
 (31.6%) 4. 被災地での活動に不安を感じる
 (9.6%) 5. 家族や職場の理解が得られない
 (12.5%) 6. 特にない
 (17.0%) 7. その他 ()

「循環型社会の形成に向けた取組み」について、おうかがいします。

問 19 「山形県産業廃棄物税」について、税負担や税の趣旨を知っていますか。(○は1つ)

山形県産業廃棄物税について

「資源循環型社会システムの形成」、「資源の循環を担う産業の振興」、「廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減」のための事業を行う財源として、産業廃棄物排出事業者または中間処理業者を納税義務者とし、県内の最終処分場への産業廃棄物の搬入に対して課税するものです。

- (9.2%) 1. 産業廃棄物税制度があることや導入目的などを知っている (N=2, 617)
- (32.0%) 2. 産業廃棄物税制度があることは知っているが、導入目的など詳しいことは知らない
- (56.5%) 3. 聞いたことがない

問 20 プラスチックは、軽くて丈夫であるという便利な特性から、様々な製品に利用される一方、適正に処理されず海洋プラスチックごみ問題を引き起こしているなど課題もあります。プラスチックごみ削減に向けて、あなたが日頃から行っていることをお答えください。(○はいくつでも) (N=2, 617)

- (39.6%) 1. マイボトルを持参し、ペットボトルなどの使い捨て飲料容器をできるだけ使用しない
- (23.9%) 2. ストローやスプーンなどの使い捨てプラスチックは使わないように心がける
- (42.6%) 3. 詰め替え容器に入った製品、簡易包装の製品、リサイクル製品など環境に配慮した製品を選ぶ
- (88.6%) 4. ルールに従って、ごみを正しく分別する
- (20.9%) 5. 地域などで行われる清掃活動に参加する
- (3.4%) 6. 特に行っていない
- (1.1%) 7. その他 ()

問 21 プラスチックごみ削減に向けて、あなたは、どのような取組みが重要だと思いますか。

(○は3つまで)

(N=2, 617)

- (38.3%) 1. プラスチックごみ問題の啓発活動、情報発信
- (34.9%) 2. 学校などでの環境教育の実施
- (62.6%) 3. 分別方法・廃棄方法の周知徹底
- (29.7%) 4. プラスチックごみの発生抑制やリサイクルに関する研究・施設整備への補助
- (13.6%) 5. 循環型産業※を担う人材の育成
- (8.3%) 6. 地域などで行われる清掃活動に参加する機会の創出
- (5.8%) 7. 特にない
- (2.9%) 8. その他 ()

※循環型産業…廃棄物等の発生抑制、再使用、リサイクルなどに関係する産業

問 22 我が国ではまだ食べることができるのに廃棄される食品ロスが大量に発生しています。食品ロスは資源の大きな無駄となるだけでなく、焼却などに伴う環境への影響や処理コストが問題となっており、削減していく必要があります。食品ロスの削減に向け、各家庭での取組みが求められていますが、あなたが日頃から行っていることをお答えください。

(○はいくつでも)

(N=2,617)

- (73.4%) 1. 残さず食べる
- (66.9%) 2. 冷蔵庫を整理し、残っている食材から優先的に使う
- (44.4%) 3. 小分け商品、少量パック、バラ売りなど、必要な分を購入する
- (22.0%) 4. 商品棚の手前に並べられている商品を積極的に選ぶ(「てまえどり」)
- (7.1%) 5. 余った食品があればフードドライブ※に協力する
- (4.1%) 6. 特に行っていない
- (2.3%) 7. その他 ()

※フードドライブ…家庭で余っている食品を集めて、社会福祉協議会などの生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設などに寄付する活動

問 23 食品ロス削減に向けて、あなたは、どのような取組みが重要だと思いますか。(○は3つまで)

(N=2,617)

- (35.8%) 1. 消費者への啓発(「てまえどり」の促進など)
- (61.6%) 2. 飲食店での食べきり・持ち帰りの促進(提供量の調整・持ち帰り容器の準備など)
- (31.6%) 3. 学校などでの環境教育の実施
- (19.3%) 4. フードドライブ・フードバンク活動※への支援
- (37.4%) 5. 食品廃棄物(食品ロスに加え、魚や肉の骨など廃棄される不可食部を含む)の再生利用の促進
- (5.5%) 6. 特にない
- (2.9%) 7. その他 ()

※フードバンク活動…包装の印字ミスや賞味期限が近いなど、食品の品質には問題ないが、通常の販売が困難な食品を、食品メーカー等から引き取って、福祉施設などへ無償提供する活動

「やまがた緑環境税」について、おうかがいします。

問 24 「やまがた緑環境税」や税の趣旨について知っていますか。(○は1つ)

やまがた緑環境税について

森林の持つ県土の保全、水源かん養などの公益的機能の維持増進、持続的発揮を図るため、荒廃のおそれのある森林を整備するなど、県民みんなで支える森づくりを進めるための財源として、住民税の納税義務者を対象に、個人から年1,000円、法人などから年2,000円～80,000円の税負担をいただくものです。

(N=2,617)

- (24.3%) 1. 負担していることやその趣旨を知っている
- (22.2%) 2. 負担していることは知っていたが、趣旨は知らなかった
- (52.4%) 3. 負担していることも、趣旨も知らなかった

問 25 県民みんなで支える森づくりのために、あなたは、どのようなことに参加・協力したいと思いますか。(〇は3つまで)

(N=2, 617)

- (19.3%) 1. 植樹祭などのイベントに参加したり、身近な県民の森などで自然に触れることにより森林に親しみ、その働きを学びたい
- (23.1%) 2. 県産材を使った木製品や、ペレットストーブを使うなど、県産木材資源の活用に協力したい
- (9.0%) 3. 森林や自然環境の大切さを伝える、自然環境教育などのボランティア活動に協力したい
- (8.0%) 4. 植林や枝打ち、下刈りなどの森の手入れ、森林パトロールなど、森林環境保全のためのボランティア活動に参加したい
- (26.1%) 5. 特に参加・協力したいと思うことはない
- (26.2%) 6. わからない
- (5.1%) 7. その他 ()

問 26 やまがた緑環境税を活用した森づくりを進めるにあたって、あなたは、どのような取組みが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

(N=2, 617)

- (42.0%) 1. 荒廃のおそれのある里山などの森林を、環境保全機能の高い森林へ再生する取組み
- (48.6%) 2. 将来にわたって森林を守り育てるため、管理放棄をした森林所有者に代わって森林組合などが管理を行う仕組みづくり
- (18.1%) 3. 森づくり体験や自然観察会などの体験型・参加型のイベントの開催による、県民と森や自然環境との触れ合いの機会の拡大
- (15.5%) 4. 身近な生活空間に木を積極的に利用し、県民が木と触れ合える機会を増やす取組み
- (9.6%) 5. 森林ボランティアなどによる、森づくりや自然環境の保全活動などの活性化の推進
- (7.3%) 6. 森づくりに対する県民の理解を深めるため、森林を学び森林に親しむための講座などの開催
- (33.9%) 7. 森林内に放置されている未利用木材を熱エネルギー源などに有効利用し、資源の循環利用を進める取組み
- (17.7%) 8. わからない
- (3.1%) 9. その他 ()

「安心して子どもを生み育てられる環境」について、おうかがいします。

問 27 あなたが、理想と思う子どもの数は何人ですか。(〇は1つ)

(N=2,617)

(2.5%) 0 人	(1.8%) 1 人	(44.4%) 2 人	(43.5%) 3 人	(1.6%) 4 人	(1.0%) 5 人以上
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	---------------

問 28 あなたが、「持つつもりの子どもの数」「現在の子どもの数」と「今後予定している子どもの数」の合計)は何人ですか。(〇は1つずつ)

《現在の子どもの数》(同居、別居を問わず)

(N=2,617)

(22.0%) 0 人	(10.6%) 1 人	(40.9%) 2 人	(16.6%) 3 人	(1.8%) 4 人	(0.2%) 5 人以上
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	---------------

《今後予定している子どもの数》

(N=2,617)

(63.3%) 0 人	(2.9%) 1 人	(8.3%) 2 人	(2.7%) 3 人	(0.5%) 4 人	(0.1%) 5 人以上
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	---------------

【持つつもりの子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない方におうかがいします。】

問 29 「持つつもりの子どもの数」が理想とする子どもの数より少ないのはどうしてですか。その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

(N=1,174)

(40.6%) 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	(10.8%) 8. 健康上の理由から
(3.6%) 2. 家が狭いから	(10.6%) 9. ほしいけれどもできないから
(11.4%) 3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	(3.5%) 10. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
(4.0%) 4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから	(4.6%) 11. 配偶者が望まないから
(5.0%) 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから	(4.8%) 12. 自分または配偶者が定年退職するまでに、全ての子どもに成人してほしいから
(13.2%) 6. 高年齢で産むのはいやだから	(13.1%) 13. その他()
(7.2%) 7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	

問 30 あなたは、「山形県の子育て環境」が、子どもを安心して生み育てることができる、社会的・経済的に満足度の高いものであると思いますか。(〇は1つ)

(N=2,617)

(6.1%) 1. そう思う	(40.9%) 3. どちらともいえない	(16.7%) 5. そう思わない
(19.8%) 2. どちらかと言えばそう思う	(10.7%) 4. どちらかと言えばそう思わない	

「住まい」についておうかがいします。

問 31 現在、あなたが暮らしている住宅についてお答えください。(〇は1つ)

(N=2, 617)

- (47.3%) 1. 平成12年5月以前に建設された新築戸建て住宅 (持ち家)
 (24.6%) 2. 平成12年6月以後に建設された新築戸建て住宅 (持ち家)
 (5.7%) 3. 平成12年5月以前に建設された中古戸建て住宅 (持ち家)
 (1.1%) 4. 平成12年6月以後に建設された中古戸建て住宅 (持ち家)
 (1.2%) 5. マンション (持ち家)
 (1.5%) 6. 戸建ての賃貸住宅 (家賃月額6万円以下)
 (1.0%) 7. 戸建ての賃貸住宅 (家賃月額6万円超)
 (3.9%) 8. アパート・マンション等の賃貸住宅 (家賃月額6万円以下)
 (1.9%) 9. アパート・マンション等の賃貸住宅 (家賃月額6万円超)
 (0.3%) 10. 公営住宅 (県営・市町村営) などの公的な住宅
 (0.6%) 11. 社宅や法人の借上げ住宅
 (6.4%) 12. あなた以外の世帯が所有する住宅 (間借り・親族との同居)
 (1.2%) 13. その他 ()

【問31で「1～5 (持ち家)」を選んだ方におうかがいします。】

問 32 人口減少等に伴う空き家の増加が社会問題として大きくなっています。現在の持ち家の将来について、あなたの考えをお答えください。(〇は1つ)

(N=2, 091)

- (50.2%) 1. 住み続けた後、いずれ子ども (親族等) に引継ぎたい
 (10.1%) 2. 住み続けた後、いずれ親族以外に売却したい
 (1.9%) 3. 住み続けた後、いずれ公的機関等に寄附したい
 (28.6%) 4. 考える必要性は感じるが、現時点では特に考えていない
 (5.7%) 5. 現時点で考えはないが、機会があれば相談したい
 (2.4%) 6. その他 ()

問 33 現在、あなたが暮らしている住宅について満足できない点や、将来的に不安に思う点は何ですか。(〇は3つまで)

(N=2, 617)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| (21.2%) 1. 住宅の機能 (水回り・浴室など) が古い | (14.7%) 8. 病院への通院や買い物が不便である |
| (27.1%) 2. 住宅の断熱性能が低い
(夏暑く、冬寒い) | (29.5%) 9. 冬期間の雪下ろしが大変である |
| (14.1%) 3. 住宅の耐震性能が低い | (2.7%) 10. 共同住宅のため騒音など近隣住民に
気を遣う |
| (12.9%) 4. 住宅がバリアフリー化※されていない | (3.4%) 11. 家賃負担が大きい |
| (11.2%) 5. 住宅が広すぎる・部屋数が多すぎる | (7.2%) 12. 将来的に、住宅の引き受け先がない |
| (6.7%) 6. 住宅がせまい・部屋数が足りない | (16.9%) 13. 不満はない |
| (6.2%) 7. 通勤や子どもの通学が大変である | (4.1%) 14. その他 () |

※住宅のバリアフリー化…今回の調査では、「2箇所以上の手すり設置」、「屋内の段差解消」のどちらか一方を満たしている状態のことを指します。

問 34 住宅の満足できない点や、不安に思う点を解消するために、あなたが望む手段は何ですか。

(○は3つまで)

(N=2,617)

- | | |
|--------------------------|----------------------------------------|
| (17.7%) 1. 現在の場所に建て替えをする | (8.5%) 6. 賃貸住宅に住み替える |
| (12.8%) 2. 別の場所に戸建てを新築する | (3.6%) 7. 親族等の住宅（空き家）を引継ぎ、
住み替えする |
| (5.2%) 3. 中古住宅を購入する | |
| (6.1%) 4. マンションを取得する | (6.8%) 8. 現在の住宅はそのまま、別の住宅と
二拠点居住する |
| (39.2%) 5. 現在の住宅をリフォームする | |
| (13.0%) 9. その他 () | |

問 35 住宅の立地について、あなたが望む点は何ですか。(○は3つまで)

(N=2,617)

- (73.3%) 1. 災害（浸水・土砂災害等）が少ない場所であること
(64.8%) 2. 病院への通院や買い物が便利であること
(28.8%) 3. 通勤や子どもの通学が便利であること
(14.2%) 4. 自然環境が豊かであること
(13.8%) 5. 地域のつながりが良く、助け合いや地域活動があること
(29.4%) 6. 近隣住民に気を遣う必要がないこと
(10.4%) 7. 将来的に面倒を見てくれる親族が近くに居住していること
(1.6%) 8. その他 ()

問 36 あなたが住宅を取得する場合、優先する点は何ですか。(○は3つまで)

(N=2,617)

- (14.1%) 1. 新築物件であること
(27.9%) 2. 取得金額が安価であること
(49.1%) 3. 断熱・気密性能が高く冷暖房等エネルギー消費が少ないこと
(31.8%) 4. 耐久性が高く長期間使用できること
(40.6%) 5. 耐震性能が高く安心して暮らせること
(28.5%) 6. バリアフリー化がされていて高齢になっても安全に暮らせること
(38.5%) 7. 住宅の設備（水廻り・浴室など）が新しく快適に暮らせること
(3.7%) 8. その他 ()

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて 9 月 2 日（火）までにご返送ください。